

題目一覧

農学部農学科

流域環境学コース

NO	氏名	題名
1	藤島 拓矢	初期の温冷繰返しが無機系補修材料の圧縮強度に及ぼす影響

農林海洋科学部

農林資源環境科学科

暖地農学主専攻領域

NO	氏名	題名
1	松浦 結樹	林内作業の違いが森林浴効果に及ぼす影響 —心理的評価に基づいて—
2	泉 遼馬	ナス個体群の光合成・蒸散速度の解析
3	大宅 大輔	高知県におけるJGAP認証の効果と課題
4	梶野 高志	ユズの園地環境が樹形と葉果比に及ぼす影響
5	亀田 崇史	持続可能なウシ胚生産技術の基盤構築
6	藏本 雛子	液体窒素フリーでのウシ精子保存技術の開発
7	坂本 椎菜	ハダニの休眠性に寄主植物の季節性が与える影響
8	澤田 康佑	培地中のショ糖が絶滅危惧植物オキナワセッコク(<i>Dendrobium okinawense</i>)の <i>in vitro</i> での器官形成に及ぼす影響
9	下山 星夜	新規肥料資材がニラの生育と品質に及ぼす影響
10	陶山 智美	子ども食堂の食材支援ネットワークがもつ可能性—高知県内の事例とアクションリサーチを中心に—
11	高石 紗希	カンキツの樹種ならびに栽培環境が樹形に及ぼす影響
12	武政 亘洋	ブルーベリーの葉中窒素含量の非破壊的推定法
13	武政 敏	耕作放棄地の発生と抑制をめぐる社会的要因
14	橘 春佳	大規模施設園芸経営体における経営多角化(6次産業化)への取組み変遷と意義
15	田中 智也	葉温計測による植物の水ストレスの評価と自動灌水制御技術の開発
16	田中 祐輔	ナスにおける生産環境の違いが生育に及ぼす影響
17	土橋 千里	絶滅危惧植物キバナセッコク(<i>Dendrobium catenatum</i>)の <i>in vitro</i> での組織培養に関する研究
18	都築 葉也佳	オゾン酸化がセルロースにおよぼす影響とその応用展開
19	野村 実央	中山間地域の園芸ハウスの栽培環境改善手法
20	林田 真耶	植物成長調整物質を用いた種なしスイカ作出技術の実用化に関する研究 —処理濃度と着果部位の検討—
21	前田 幾帆	ニラの安定多収栽培に関する研究 —施肥量の影響—
22	前田 浩汰	中小規模園芸ハウスにおける局所環境制御手法の活用
23	榎本 未結	グロリオサの施設栽培におけるフィルムの散乱光率が生育と花の品質に及ぼす影響
24	松本 大輝	絶滅危惧植物オキナワセッコク(<i>Dendrobium okinawense</i>)の <i>in vitro</i> での組織培養に関する研究
25	三島 友季	ナス長期どり促成栽培における整枝誘引方法の違いが生育収量と作業性に及ぼす影響
26	宮本 脩平	トマト栽培における腐植酸資材の影響
27	村上 真裕子	ソーラーシェアリングにおける環境評価と新たな展開
28	八杉 翔太	透過型太陽光発電モジュールのソーラーシェアリングへの応用
29	柳川 大我	食用カンナの地上部・根茎形質における有望系統の選抜
30	吉田 侑子	中山間地域における子育て支援の充実に向けて —高知県本山町を中心に—
31	魯 艶星	絶滅危惧植物タキユリ(<i>Lilium speciosum</i> var. <i>clivorum</i>)の生態調査と繁殖に関する研究

自然環境学主専攻領域

NO	氏名	題名
1	石黒 百音	GPS可降水量を用いた日平均地上水蒸気圧の推定
2	井上 泰斗	キチヨウ属2種の高知県内における生息状況
3	江副 史朗	クリサキテントウの警告色と隠蔽色に関する比較研究
4	木村 和樹	メスグロハナレメイエバエと他種の天敵の併用による害虫防除効果
5	古閑 謙太郎	高知県在来イネ品種「アラキモチ」の栽培特性評価および遺伝的改良に向けた検討
6	佐藤 すず	嗅覚センサーによる害虫発生の自動検出技術の開発
7	三宮 泰正	イネの胚組織サイズに関する変異と形態特性評価
8	瀬尾 朋希	イネにおけるセロトニン蓄積技術の構築
9	高月 幹太	コウノアケハダニ <i>Eotetranychus asiaticus</i> Eharaの寄主利用能力の分化に関する研究
10	谷川 なつみ	野生植物からの植物保護成分の探索
11	樽谷 英賢	イネの糊粉層形態に関する品種間差異
12	羽野 智哉	キバネアナバチの利用資源及び選好性の解明
13	松本 光太郎	時系列データとしての時別気温の変動解析と再帰型ニューラルネットワークRNN/LSTMによる再現
14	松本 龍生	イチゴ栽培ハウスにおける害虫チバクロバネキノコバエに対する天敵メスグロハナレメイエバエの防除効果
15	吉田 周生	UV酸化がセルロースにおよぼす影響

森林科学主専攻領域

NO	氏名	題名
1	土居 健太	薪ストーブを使用した実験による含水率・樹種別の燃焼特性の比較
2	浅利 なつこ	土佐清水市の節生産における薪利用の現状と課題
3	江面 志帆子	高知大学演習林における林道の維持管理
4	門田 涼平	義務教育段階における森林教育は林業の担い手づくりに直接寄与しているか？
5	金山 陽平	高知県における竹害・竹林整備の現状と課題
6	熊田 朱里	廃棄ユズ果皮からのセルロースの抽出
7	笹下 祥汰朗	中小規模製材所における製材残材の有効活用について
8	塩崎 晶子	等圧葉樹種と異圧葉樹種の高温ストレス応答
9	清水村 夏海	嶺北フィールドにおけるヤマザクラの枯死要因について
10	羽根 大貴	薪ストーブ及び焚火台を用いた実験による竹材の燃焼利用の検討
11	藤澤 加鈴	グリセリンを活用したバインダーを使用しない抗菌紙の調製
12	本郷 真子	千本山天然ヤナセシギ希少個体群保護林における立木の内部腐朽の定量把握と腐朽要因の解明
13	松田 啓	Sentinel-2/MSI を用いた高知県における竹林分布の解析
14	森田 大輔	演習林における広葉樹の伐出試験
15	山下 七海	高知県における森林認証の現状と産業間連携の課題
16	和田 遼平	簡易動的コーン貫入試験機による作業道路盤の強度に及ぼす規格と過年の影響

生産環境管理学専攻領域

NO	氏名	題名
1	沖田 壮	農地の汎用化における排水性に影響するレキと間隙について

生産環境管理学プログラム

NO	氏名	題名
1	宋 宜卿	ベントナイト系土質材料を用いた遮水層によるため池堤体改修工法の開発
2	池添 厚亮	室戸地域におけるウバメガシの広域的資源量推定法の確立
3	上土井 稔博	風蝕抑制に影響する風の持つエネルギーについて - 豊浦砂を事例とした風蝕始動の土壌水分 -
4	葛西 雅史	農業用ため池の機能改善に向けた水域内の底質環境調査
5	川内 友太郎	WebGISによる地理情報の公開 - 高等学校「地理探究」を対象としたシステムの構築 -
6	喜羽 柚衣	棚田景観を中山間地域の活性化に繋げるために
7	斎藤 加奈子	光センシングによる食品への異物混入検出に関する研究 - 非金属異物を中心に -
8	砂山 直敬	障がい者と農家の就農に対するメタ認知のギャップに関する考察
9	田井 裕也	農業用ため池における水生植物体の底質への堆積状況
10	田中 翔馬	回転円板型促進酸化装置による抗菌剤スルファメタジンの長期処理特性
11	中井 孝彰	発泡ポリスチレンを用いた型枠兼用断熱材の有効性に関する研究
12	中野 一輝	難消化性素材の食品への応用とその多面的品質評価 - 人工胃液による消化性評価を中心に -
13	中村 智昭	住宅地域における音響式信号機の騒音問題
14	畠山 智陽	障がい者就農におけるミスマッチの適正化に関する一考察
15	林 愛葉	農業用用水路の補修施工実績追跡調査と性能評価
16	福岡 駿哉	2次元単層モデルによる野見湾および須崎湾の潮流解析
17	福見 比呂	石土池における水生植物の長期的消長と流れ場への影響
18	古谷 惇	効果的な休憩時間の設定による農作業負担軽減の検討 ~ 休憩頻度の違いによる比較 ~
19	三好 しおり	下水処理場流入水におけるマイクロプラスチックの変動特性
20	森 大晃	正浸透法による下水濃縮プロセスにおける透水性能低下要因の考察
21	横田 麻帆	在日ムスリム少数地域における食品選択とその多様性 - 高知市周辺のみスリムを中心に -

農芸化学科

NO	氏名	題名
1	後藤 大輔	ベトナム・タイゲン省の茶園下層土壌におけるCuの形態別存在量
2	張 以馳	モンゴル産植物の抗酸化活性の評価
3	秋沢 鈴	ブタ卵子における高温傷害のメカニズム
4	伊藤 佑太	由来の異なる人工シデロフォア-鉄(III)錯体の植物へのpH依存的な鉄供給能評価
5	岩崎 涼太	L-アスパラギン酸4-ベンジル代謝関連酵素の探索
6	浦 ほたる	クスギ樹液成分変化と微生物の関与について
7	江頭 遼太	レスポンスレギュレーターPhcWタンパク質の1970番目のアミノ酸残基アスパラギン酸の青枯病菌OE1-1株のクオラムセンシングへの関与
8	大澤 圭祐	ポリγグルタミン酸の抗菌プラスチック化
9	川原 里穂	ヤギ乳の品質に対する酒粕添加飼料の影響
10	菊地 那美	硫酸化多糖ウルバンに対するsulfataseの作用の解明
11	木下 裕智	コガタズメバチの警報フェロモンの探求
12	河野 太政	アルファルファ植草土壌の物理性について
13	小杉 香南子	<i>Streptomyces griseochromogenes</i> NBRC13413由来L-グルタミン酸オキシダーゼの遺伝子クローニング
14	佐伯 知哉	発酵ポリγグルタミン酸の効率回収モデル
15	坂本 悠馬	L-ホモアルギニン定量の酵素センサーとして利用できる微生物酵素の探索
16	佐々木 漢	線虫 <i>Caenorhabditis elegans</i> を用いた農作物の老化抑制活性の評価
17	芝崎 亜樹	地場資源から分離した野生乳酸菌の生育特性とβグルカンの添加効果
18	高木 凧月	Fagaramide誘導体の抗 <i>Mycobacterium smegmatis</i> 活性と構造活性相関
19	高橋 知也	放射光蛍光X線イメージングを用いたOsMTP8の鉄輸送への関与の解析
20	瀧 晃太郎	ホルチン沙地土壌の微生物群集特性
21	武田 俊也	ブタ卵子の低温傷害における脂質メディエーターの役割
22	田所 瑞貴	腸内細菌 <i>Akkermansia muciniphila</i> のムチン結合因子に関する研究
23	谷口 優人	部位特異的変異導入によるL-アラニン脱水素酵素の基質特異性改変の試み
24	鎚谷 春香	蛍光タンパク質発現ベクターの開発
25	土谷 洸生	苗木食害防止装置の開発に向けた忌避成分吸着保持法の検討
26	寺澤 夕貴	青枯病菌OE1-1株の病原性へのシデロフォア活性の関与
27	長峰 海斗	<i>Burkholderia</i> sp. HME13に由来するエルゴチオネイン代謝酵素ErtEの機能
28	畠中 菜美季	県産吟醸酒の品質向上を目的とした醸造法の改良
29	畑 紀行	大腸菌D-アラニル-D-アラニンリガーゼの基質特異性改変の試み
30	馬場 康輔	飼料イネ連作の停止に伴う水田土壌のカリウム肥沃度の変化および非交換態カリウム簡易測定法の模索に関する研究
31	坂東 卓弥	<i>Nicotiana benthamiana</i> 植物由来ホスホリパーゼC3は活性酸素種の生産調節を介して過敏反応を負に制御する
32	平田 なるみ	ピーマンの機能性成分の分析
33	平本 和歌菜	アルファルファが塩類集積地土壌の理化学性に与える影響
34	廣出 隼正	<i>Rhodococcus</i> sp. ASM1C由来L-アラニン脱水素酵素の精製と特徴づけ
35	藤崎 英輝	高知県四万十町ショウガ栽培圃場の土壌特性と肥沃度
36	古田 富大	イネのER-type Ca ²⁺ ATPase 3の生理的役割
37	保科 萌	フィリピン国マヨン山周辺の土壌特性-火口からの方位と距離に着目して-
38	松本 大	<i>Zanthoxylum Zanthoxyloides</i> 根MeOH抽出物が示す3T3-L1前駆脂肪細胞に対する脂肪蓄積抑制活性
39	水谷 優香	<i>Nicotiana benthamiana</i> 植物由来ホスホリパーゼC1の植物免疫応答における役割
40	三藤 裕希	極限環境微生物の推定ポリγグルタミン酸合成システム
41	宮島 香奈	ウルバン資化海洋細菌のウルバン分解酵素の同定と遺伝子操作系の開発
42	森實 祐香	青枯病菌の多面発現因子PhcAを介する遺伝子発現調節機構の解析
43	森本 将平	ゼブラフィッシュ未成熟卵子の低温傷害に関与するチャンネル
44	吉田 百花	ヒメビウカにおける産卵刺激物質解明のための生物検定法の確立

海洋資源科学科

海洋生物生産学コース

NO	氏名	題名
1	秋成 滯	高知県物部川支流に生息するアマゴ集団の遺伝的多様性
2	安宅 太一	<i>Gambierdiscus</i> 属新奇系統型の培養株確立に向けた本属藻の培養条件と分離株の系統型の検討
3	石川 裕之介	高水温期のブリ幼魚における飼料の脂肪酸組成と脂質含量の最適化
4	磯部 涼	有害渦鞭毛藻 <i>Karenia mikimotoi</i> の光依存的鉛直挙動の実験的検証
5	伊藤 楓	高知県久万川の干潟域におけるサギ類の採餌場所の解明
6	上野 大海	石垣島沿岸域における海産底生性シアノバクテリアの群集組成の解明
7	大塚 元太	シンカイヨロイダラゲノムで拡大の見られたミオシンの分子構造
8	小川 晴暉	高知県物部川の遡上時期における環境DNA分析を用いたアユの生息モニタリングと冷水病菌分布との相関把握
9	小倉 聡士	カニ消化腺とその腸内・生息微生物の連携的なセルロース分解機構解明の試み
10	改木 太賀	キンギョにつく単生類とくに <i>Dactylogyrus</i> 属の産地による種組成の違いとその季節的変動
11	加藤 虎太郎	低水温期のブリ当歳魚用飼料における至適DHA(ドコサヘキサエン酸)含量の決定
12	毛塚 湧介	フグ毒を保有するスベスベマンジュウガニの餌生物の網羅的解明
13	國母 峻太	河川水中のマイクロプラスチックの調査方法の検討および国分川へ適用
14	坂口 楓	スケウダラ冷凍すり身から調製した加熱ゲルの物性に及ぼす市販塩類添加の効果
15	佐藤 立都	栄養塩制限下における珪藻個体群の消長に及ぼす珪藻ウイルスの生態学的影響
16	杉原 美季	スケウダラ冷凍すり身から調製した加熱ゲルの物性に及ぼす焼塩添加の効果
17	関上 瑞	ニジマスとレタスを用いたアクアポニックスシステムの基礎的研究
18	土居 真大	土佐湾のガラモ場の海藻構成種の経年変化が魚類群集の構造に与える影響
19	梶田 由希菜	分画操作したアオリイカ輸卵管腺のスルメイカ人工受精卵への卵膜膨張誘発効果
20	中田 圭紀	冬季ウツボ肉の栄養成分とコラーゲン含量について
21	長代 悠生	閉鎖循環式陸上養殖システム(Recirculating Aquaculture Systems : RAS)によるブリ飼育の基礎的研究
22	西脇 宙生	土佐湾沖の流れ藻に付随するブリ稚魚の生態学的研究
23	服部 夕音	高知県野見湾の養殖カンパチにおける連鎖球菌の薬剤感受性サーベイランスと薬剤耐性菌の初確認について
24	濱野 良安	ブリの脂質消化改善を目的とした植物原料の調製
25	福武 和真	脈波計測システムを用いたクルマエビのストレス推定
26	福西 晃育	高知県内河川のアユを対象にしたアユポックスウイルスの感染実態把握ならびに検出ウイルスのゲノム配列比較
27	藤谷 勇太	高知県国分川河口干潟底質のマイクロプラスチックの微細分布パターン
28	前田 達彦	ウナギの昆虫飼料に対するアミノ酸の摂餌増進効果
29	道野 勇輝	高知県国分川における河川水中のマイクロプラスチック汚染の実態および流域環境との関係
30	宮崎 優太	九州、四国および本州の分布南限・東限周辺におけるムギツクの遺伝的集団構造と遺伝的多様性
31	山下 春菜	化学的強固な有機亜リン酸化合物を利用可能な海洋細菌の分離と系統解析
32	山田 流星	様々なハンドリングをしたマダイとブリの心拍ロガーによる心拍数の測定

海底資源環境学コース

NO	氏名	題名
1	阿久津 紗梨	カリフォルニア湾グアイマス海盆コア試料内部の微小空間可視化解析
2	池内 理乃	海水の溶存二酸化炭素分析 -鹿児島湾の経年変化および新分析法の検討-
3	井村 奏	種子島東方の黒潮小蛇行と大蛇行の関係
4	亀井 翼	小笠原海台南海山で採取された複数のマンガンクラスト内にみられる微細層序の対比
5	菊田 航平	黒潮域の冷水塊におけるリン酸塩の動態
6	木村 慎吾	小笠原諸島への漂流物の流路と起源
7	熊谷 和音	クロマトグラフィーによる亜硫酸・チオ硫酸の測定
8	小竹 秀徳	間隙水に含まれる重金属元素の現場濃縮に向けた検討
9	田代 昂士	鹿児島島の金鉱床から産出する金鉱石の三次元観察
10	永田 大海	高解像度組織観察・元素分析に基づく四万十帯北帯中の白亜紀層状鉄マンガン鉱床の形成プロセスの検討
11	中村 雄太郎	レーザーラマン分光法をもちいた海水中溶存化学種の現場分析法の開発

海洋生命科学コース

NO	氏名	題名
1	伊藤 真澄	造礁性サンゴ・アマキサオトゲキクメイシの分子細胞遺伝学研究
2	上仲 佑果	土壌由来・海洋由来の放線菌 <i>Streptomyces</i> 属におけるゲノム科学的な比較解析
3	海老名 芹紗	高温でプラスチックを分解する細菌の発見
4	加地 大輝	海洋細菌由来物質の免疫賦活作用の評価—マウスマクロファージ由来細胞株を用いた遺伝子発現解析—
5	川上 玲	ゴカクキクメイシ染色体における分類学的特徴
6	北詰 裕哉	超原子価ヨウ素試薬を用いた立体選択的反応機構の解析
7	慶田花 蒼	アミロイドβ 25-35の凝集並びに神経毒性に対するペリジニンの効果
8	小池 紘輝	低温でのプラスチック分解菌の研究
9	小平 恒靖	Friedel-Crafts反応を用いたindene合成法の開発
10	坂間 将純	重金属耐性を示すコケ植物ホンモンジゴケのゲノム解析
11	下村 基	強アルカリ・還元的環境における微生物のリン獲得機構の研究
12	高木 響	浦戸湾における環境勾配に沿った底生生物群集の空間構造
13	館石 尚久	赤潮頻発海域から単離されたアメーバ感染性ウイルス株の形態学的解析
14	松田 桜生	固体核磁気共鳴分光法(NMR法)を用いた石炭の化学構造解析研究
15	松原 雄太	培養実験による海洋無脊椎動物由来細菌の相互作用調査
16	松本 優希	バクテリオファージKHP30を用いた <i>Helicobacter pylori</i> の制限修飾系の解析
17	森田 華菜	天然生理活性物質safranalの新規効率的合成の開発